

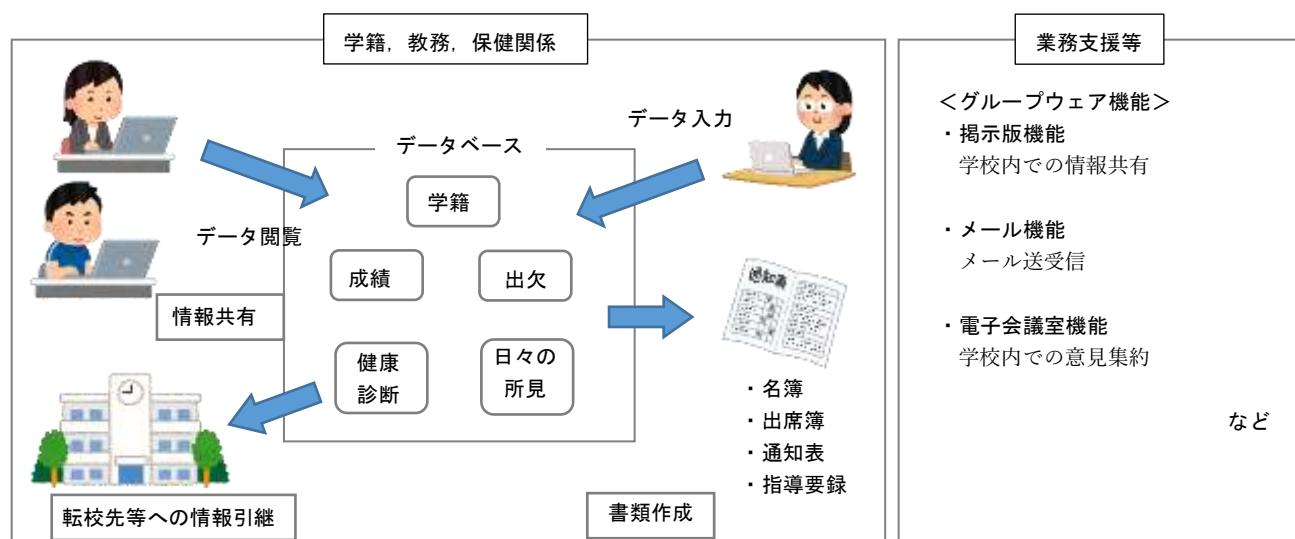
今年度、全ての小・中学校に「校務支援システム」が導入されます!😊

本市では、学校や児童生徒に関するさまざまな情報をデジタル化し、教職員間で共有するシステムにより、教職員の事務負担を軽減するとともに、子どもの育ちを教職員全体で見守るきめ細やかな指導の充実等を図ることを目的に、「北海道共同利用型校務支援システム」(「C4th:シーフォース」)を導入します。

昨年度、小・中学校6校(桔梗小、鍛神小、鱒川小中、亀田中、恵山中)で先行導入し、活用を進めています。

校務支援システム(C4th:シーフォース)とは、そもそも…?😊

校務支援システム(以下「C4th:シーフォース」)は、学籍、出欠の状況、成績など、児童・生徒に関わる、さまざまな情報を一元的に管理する機能のほか、スケジュールや掲示板など、教職員の間で情報共有を図る機能などを備えた、校務の効率化を図るシステムです。



C4th 導入に向けた「管理職等説明会」を開催しました!😊

全ての市立小・中学校へのC4thの導入を前に、先月、管理職等説明会を開催しました。

今回は、C4thの開発会社である(株)EDUCOM(エデュコム)の担当者から、実際にC4thの画面を操作しながら、さまざまな機能の内容や今後の準備等について説明を受けました。

エデュコムからの説明の後には、ご出席いただいた先行導入校の桔梗小学校と亀田中学校の職員から導入校のようすや導入にあたってのアドバイスがありました。



★ 導入の準備を進めるために大切なこととして…😊

今回の管理職等説明会や、これまで開催してきた先行導入校の情報交換会では、スムーズな導入に向けて、先行導入校においていくつもの工夫点があることがわかりました。その中から、今回は校内体制について、いくつかお伝えします。



自校は規模も大きいので、ICT オフィサーという校務支援システム担当者を各学年1名決め、複数名でシステムの活用を進めていく体制をつくりました。このことで、一部の先生に負担がかからず、また苦手な先生へのフォローもしやすい環境ができました。



学校全体で C4th を使いなれるまでに数か月かかりました。いきなり本格運用をすることは難しいので、必ず試行期間を設け、1つずつ提案しながら、段階的に使用する機能を増やし、慣れてもらいました。



C4th は新たなシステムなので、導入の際には、「①教職員の働き方改革の一環であること、②市全体で導入するシステムであること、③全道規模での取組であること、④セキュリティなどの安全性が高いこと」などをしっかりと先生方へ説明しました。

上記のほか、「校内で1つの新たな機能を使い始めたら、既存の重複する業務は減らす」ことなどもポイントの1つかもしれません。C4th の運用に向け、今後も本通信で随時特集してまいります。

業務改善推進のためのモデル事業が始まります!😊

今年10月から業務改善推進モデル事業が始まります。対象校や事業内容は以下のとおりです。

1 モデル事業の対象校について

八幡小学校、亀田小学校、五稜郭中学校、市立函館高等学校の4校

2 モデル事業の内容について

(1) 留守番電話の導入（メッセージを残すことはできません）

夜間や休日などに学校電話に留守番電話機能を設定し、電話対応業務の軽減効果について、検証を行います。また、各校の留守番電話の設定開始日や電話対応の時間は以下のとおりとなりますので、皆様のご理解、ご協力をお願いします。

- ・八幡小学校、亀田小学校（10月1日～）：午前7時30分～午後6時
 - ・五稜郭中学校（10月15日～）：午前7時30分～午後7時
 - ・函館高等学校（10月2日～）：午前7時30分～午後7時
- ※上記の時間帯で、教職員が勤務している場合に電話対応をします。
※長期休業期間（夏季、冬季）の平日は、各校所定の勤務時間内となります。
※なお、学校行事や緊急時の対応等により、変更となる場合があります。



(2) インターネットを活用したアンケート調査等の実施

これまで所定の用紙に記入し、提出していたアンケート調査等について、パソコンやスマートフォンから回答できるシステムを活用し、調査業務の事務軽減効果について検証を行います。

※一部の学校ではすでに導入済みです。



「教職員の業務改善のための取組」は[市ホームページ](#)からご覧いただけます😊

このほか、「こういう情報がほしい」などのご要望がありましたら、教育政策課にお知らせください。